

市民の皆様から頂いた意見、提案等についての回答（出前懇談会）

- ※ 皆様から頂きました、意見等に対する今後の対応について、回答しています。
- ※ 計画の位置づけ項目の、「総合戦略(27年度中策定)・「第6次総合計画(28年度中策定予定)」の欄に○印があるものについては、反映する予定です。
- ※ 計画の位置づけ項目の、「公助・共助・自助」については、施策、事業を実行する場合に、誰が主体的に取り組むか示したものです。
- ※ 皆様から頂いた、ご意見について、緊急性、効率性、有効性等の観点で整理しました。ご意見等を否定するものではありませんので、ご理解よろしく申し上げます。

意見集約の場	意見（取組内容や方法）	市の考え				
		回 答	計画への位置づけ			
			施策・事業化	総合戦略	第6次総合計画	主管課
出前懇談会 馬原	天瀬温泉病院が中心部へ移ると聞いている。医療機関が中心部に集中しており、通院することも難しくなるため、官民一体で出前医療みたいなものではないか。	今後も東溪診療所、及び2箇所の出張診療所は維持し、訪問診療についても現在と同様に実施します。	<公助> 取り組んでいる	—	○	健康保険課
出前懇談会 大鶴	先日テレビで、「テレワーク」というのがあった。地域活性化するようなIT関係の事業で、ネットを活用し田舎に居て都会の仕事ができるものである。仕事ができるということになれば、若い方が定住して在宅勤務ができる。是非考えていただきたい。	インターネットは市内全域で接続可能であり、定住のPRをする中で情報発信の方法を考えていきます。	<公助> 検討する	—	○	地域振興課
出前懇談会 鎌手・大山	市民の足としての、バス、デマンドバス、乗り合いタクシーなどを考えてほしい。	現在、市民の通院や買い物のためコミュニティバスや、乗合タクシーを運行していますが、今後も引続き市内全域の取組みとして地域の実情にあった地域公共交通サービスの確保充実に努めます。	<公助> 取り組んでいる (既存事業見直し)	○	—	地域振興課
出前懇談会 咸宜	椿ヶ鼻ハイランドパークの管理が全国的に有名な業者がきたので、案内板や津江山系の登山道の整備をして奥日田地域のPRをもっとしたらどうか。	津江三山の登山道整備は25年度から3ヶ年で行いました。PRについては、(仮称)奥日田デザイン会議の中で検討します。	<共助> 検討する	○	—	観光課
出前懇談会 咸宜	観光業の振興では日田市は福岡から大分への通り道になっていて、宿泊は別府や湯布院となっている。日田市の宿泊施設は魅力がないので支援して魅力的な宿泊施設にしたり、観光ルートを作ったりなどできないだろうか。	日田旅館の観光資源である「屋形船」の改修に対する支援や、「観光魅力アップ・おもてなし講座」を開催し、魅力ある観光地となるために、様々な取り組みを行っております。また、観光ルートの造成は観光誘客宣伝事業で対応します。	<共助> 取り組んでいる	○	—	観光課
出前懇談会 隈庄手	空き家の活用として、市が空き家を購入して貸し出しては。周辺地域の市営住宅の家賃基準の見直し。	現在、空き家バンク制度を設けるとともに、空き家の購入・改修等に対する助成を行い活用を図っています。市としては、市が空き家を購入等するのではなく、地域・集落が主体となった空き家の活用の取り組みを支援していく考えです。	実施しない	—	—	地域振興課
出前懇談会 桂林	市内循環バス運賃を100円程度にし、手軽に利用できるようにする。	28年度に、市内循環バス運賃を100円にする実証事業を行い、乗降者数の状況等を検証します。	<公助> 取り組んでいる (既存事業見直し)	○	—	地域振興課

意見集約の場	意見（取組内容や方法）	市の考え				
		回 答	計画への位置づけ			
			施策・事業化	総合戦略	第6次総合計画	主管課
出前懇談会 桂林	市街地の優良な空き家を、市民や民間、不動産業者と協力し、店舗や教室の開催ができないか。	市が主体となって活用を図る空き家については、移住者等の居住用のみを考えています。	<公助> 実施しない	—	—	地域振興課
出前懇談会 桂林	五馬台地の雑木林の活用はできないか。	大山農協が「五馬媛の里」を開設したように、さまざまな民間活用の可能性に期待しています。	実施しない	—	—	林業振興課
出前懇談会 桂林	日田にはお茶、わさび、西瓜、梨などたくさんの農産物があるが、小規模では経営がなりたたないと思う。種類を絞り大規模化を図り、福岡・大分以外でも知名度を高め、全国的に売り出す施策が必要ではないか。	ご意見にあるとおり、全国・海外展開するためには、一定の生産量と品質、ブランド化等が必要です。したがって、主力農産物について、今後も生産者・団体と連携して、その強化に取り組んでいきます。また、その他産直や小物野菜等については、大丸アンテナショップや木の花ガルテンを活用し、農協等と連携した販路の拡大を図ります。	<共助> 取り組んでいる (既存事業見直し)	○	—	農業振興課
出前懇談会 桂林	日田で暮らせる仕事を作るため、知恵を出し合い、市民の意見を吸い上げる手立てをしっかりと行って欲しい。	ご意見にあるとおり、仕事を持ち安心して暮らせるまちを創るためには、市民の皆さんや行政等が共に知恵を出し合い、自らが主体となって実行する「参画と協働」の取り組みが必要不可欠です。今後も、集会等様々な機会を捉え、市民の皆さんの意見集約に努めます。	<公助> 取り組んでいる	○	—	企画課
出前懇談会 桂林	中心市街地の空きスペースは残念でならない。また、市街地の建築物には優良な空きスペースがたくさんある。市民や民間、不動産業者等と協力して店舗や教室の開業にむすびつけられないか。	空き店舗等の調査結果を基に各商店街の今後の方向性を探り、有効と思われる施策を展開していきます。	<共助> 検討する	—	○	商工労政課
出前懇談会 桂林	地方の過疎化は止まらないと思う。人口ビジョンに示す日田市の合計特殊出生率2.1の実現は、不可能だと考える。また、同じく2060年、日本の人口1億人維持への期待も大変薄く、1億にこだわる必要があるのか。外国では1億に満たない人口で正常に維持している国家も多数みられる。	若年者層が高齢者の年金等を支える社会保障制度を維持していくためには、少子化対策等を進め、一定の人口を維持する必要があると言われていきます。また、人口減少がそのまま続けば、地域経済の衰退や地域コミュニティの崩壊などの問題が深刻化し、安心して暮らせる地域社会の維持が困難になることが考えられます。そのため、人口減少社会に対応しつつ、日田市の未来に希望の持てる地域社会の継続・発展を目指す必要があります。	<公助> 検討する	—	—	企画課
出前懇談会 桂林	大学誘致・自衛隊誘致（極端な話になるが）などは考えられないか。	高等教育機関の誘致については、引き続き、県等との連携とともに、情報収集に努め、その可能性を探っていきます。	<公助> 検討する	—	—	企画課

意見集約の場	意見（取組内容や方法）	市の考え				
		回 答	計画への位置づけ			
			施策・事業化	総合戦略	第6次総合計画	主管課
出前懇談会 桂林	大学誘致・自衛隊誘致（極端な話になるが）などは考えられないか、また、天ヶ瀬の五馬台地の開発により広大な雑木林の有効活用はできないか。	農業や林業を中心に、技能の習得を目的とした教育機関の誘致に関する情報収集。市内の未利用施設(行政)の利活用を検討します。	<公助> 取り組んでいる	○	—	企画課
出前懇談会 桂林	専門部署での積極的な企業誘致活動をお願いしたい。	専門部署として、企業立地推進室を設けており、今後も県関係部署等と連携した誘致活動を推進します。	<公助> 取り組んでいる	○	—	企業立地推進室
出前懇談会 桂林	人口ビジョンについては、大まか過ぎるように思える。地区毎の分析等もっと、きめ細かな分析が必要ではないか。	人口ビジョンは、2060年という基準年における市の目標将来人口を設定するものです。ご意見にあるとおり、今後、地域ごとの実情に沿った対策等を講じるためには、地域人口の推移・予測等の分析も必要と考えています。	<公助> 検討する	—	—	企画課
出前懇談会 桂林	新しい森林活用企業の創出により、労働者を都市から転入させる仕組みができないか。この企業創出によって未利用間伐材やバイオマスエネルギーの有効利用、さらには森林の再生も期待できるのではないか。	企業誘致活動等の中で、その可能性を探ります。ただし、未利用間伐材については、既存のバイオマス発電所の安定的な燃料確保という点に留意する必要があります。	実施しない	—	—	企業立地推進室 林業振興課
出前懇談会 桂林	若い人達の職場では独身が多く、出会いの機会がないとの声を聞く。ある病院では80%が独身という現状がある。男女をむすぶ「世話やきおばさん」が必要だと思う。	「出会いの場」を創出する協議会等で結婚支援について検討します。	<共助> 検討する	○	—	企画課
出前懇談会 桂林	子育てについては、市が高校卒業までの学費を負担するなど、意気込みを持った施策が必要だと考える。このような施策なしには人口は増えないと思う。	高等学校については、国により授業料無償化等の支援が実施されています。また、小中学校では、現在、補助教材の購入費などを市費で賄い、保護者の負担軽減を図っています。	<公助> 取り組んでいる	○	—	教育総務課
出前懇談会 桂林	子育てについては、市が高校卒業までの学費を負担するなど、意気込みを持った施策が必要だと考える。このような施策なしには人口は増えないと思う。	就学前の児童が利用する認定こども園や保育園などの利用者負担については、世帯の所得の状況に応じた応能負担となっており、現在、国が定める水準の約7割程度の額で定めています。また、利用者負担の軽減措置として、多子軽減制度やひたっ子にこにこ保育支援事業について拡充を行い、子育て世帯の負担軽減を行うこととしています。	<公助> 取り組んでいる	○	—	こども未来室
出前懇談会 桂林	今後人口の減少が予想されるため、市の歳出も抑えなければならない。そのため、市職員の適正化も必要であると考えます。	平成26年度に行政サービスの水準を向上しつつ「最小の人員で最大の成果を挙げる」ための定員管理計画（平成27年度～平成32年度）を策定しており、この計画に基づき定員の適正化を進めます。	<公助> 取り組んでいる	—	○	総務課
出前懇談会 桂林	国会議員や知事、県議などの協力により企業誘致を進めて欲しい。	国、県等の関係機関とこれまで以上に連携を図ります。	<公助> 取り組んでいる	○	—	企業立地推進室

意見集約の場	意見（取組内容や方法）	回 答	市の考え			
			計画への位置づけ			
			施策・事業化	総合戦略	第6次総合計画	主管課
出前懇談会 桂林	行政との意見交換する場に、若者が集まらない。働き掛けや集まる施策をお願いしたい。	ご意見については、市も「参画と協働」を進めていく上で大きな課題であると認識しており、集会参加への働きかけや参加したくなるようなテーマ設定等に努めます。	<公助> 既存事業見直し	—	○	企画課
出前懇談会 桂林	近隣の中津には自動車企業がある、この自動車部品を作る工場の誘致、または新たな木材加工工場などを産・官・学が力を合わせて誘致してはどうか。	中津の自動車企業には、福岡県圏域からの部品供給があり、日田市が通過点となっている可能性があります。また、中津・日田道路の建設計画も進められており、これまで以上に関連企業の情報収集を行い誘致を推進します。引き続き、様々な企業進出の可能性を探り、企業誘致に努めます。	<公助> 取り組んでいる	○	—	企業立地推進室
出前懇談会 桂林	企業の本社がある大都市への人口流出は当然だと考える。工場等を地方へ分散させる等、国の施策が必要。	ご意見のとおり、国の実効性ある取り組みが求められます。今後も、国の動向を注視しながら取り組んでいきます。	<公助> 取り組んでいる	—	○	企業立地推進室
出前懇談会 桂林	海外の災害復旧地に日田の木材と技術を一緒に輸出する。併せてOAD(開発途上国の経済・社会の発展に役立つために行う技術提供活動)への協力も考えられないか。	海外向けについては、日田材出荷対策事業で、製材品等の輸出拡大に向けた取組をおこなっており、そちらを優先して進めます。	実施しない	—	—	林業振興課
出前懇談会 桂林	どこの市でも実施するような政策では意味を成さないと考える。有効な総合戦略にするためには、市民と行政の意思の疎通を図り、市民が行政をリードする形が必要。そのためには行政内部に市民も相談できるような民間人の指導者や経営感覚を持った人材が必要だと考える。	ご意見のとおり、民間のノウハウや経営感覚は必要であることから、今後とも、外部人材の活用や民間団体等への業務委託に係る取組を進めます。	<公助> 取り組んでいる	—	—	総務課 企画課
出前懇談会 桂林	すべての出前懇談会での意見集約後、再度市全体での協議の場を設けて欲しい。	それぞれの出前懇談会の内容については、市ホームページで公開しています。なお、総合戦略については、1月12日に市民説明会を開催し、再度、意見集約に努めたところです。	<公助> 検討する	—	○	企画課
出前懇談会 桂林	これまでの企業誘致については、税制の優遇によって誘致活動を行ってきた経緯があると思うが、今後は企業誘致により、税収増が見込めるような地方に有利な税制となるよう、国や県への働きかけが必要ではないか。	国の動向を注視しながら、県市長会や全国市長会を通じて、県や国に積極的に要望していきます。	<公助> 取り組んでいる	○	—	企業立地推進室
出前懇談会 竹田	サッポロビールに、納品する麦を作れないか。	サッポロビールの原料基準及び必要なロット確保が困難とされます。連携可能な事については協議していきます。	<共助> 実施しない	—	—	農業振興課
出前懇談会 田島	林業の町であることを生かし、若者を呼び込む、学びの場としての林業大学を創立する。既存の林業大学はほとんどが2年間の短期大学であることから、類をみない4年生の林業大学を創立する。	高等教育機関の誘致については、引き続き、県等との連携とともに、情報収集に努め、その可能性を探っていきます。	<公助> 検討する	—	○	企画課 林業振興課
出前懇談会 田島	交通アクセスの改善により、福岡・日田間を30分から40分程度でつなぐ。これによって福岡からの誘客を増やす。また、通勤や大学への通学の利便性を高め、日田への定住を促進する。	福岡・日田間を30分から40分程度でつなぐことは、現時点で不可能と思われませんが、移住定住を促進するためJR九州と民間バス会社に増便・時間短縮等積極的に働きかけ利便性の向上を促します。	<自助> 働きかけを行う	○	—	地域振興課

意見集約の場	意見（取組内容や方法）	回 答	市の考え			
			計画への位置づけ			
			施策・事業化	総合戦略	第6次総合計画	主管課
出前懇談会 田島	健康寿命を長くし、国民健康保険税の軽減にも努め、貧困世帯の減少につなげることが必要である。	健康寿命の延伸を図るため、市民一人ひとりが主体的に健康の保持・増進に取り組む意識づくりや、地域で健康づくりを支える仕組みづくりを推進します。ウォーキング・ステップ運動・スロージョギング等の運動の推進や健康活動に応じてポイントを付与し、無関心者層へも健康意識の高揚を図ります。	<公助> 取り組んでいる (既存事業見直し)	○	—	健康保険課
出前懇談会 田島	一次産業は、若者から高齢者まで、役割分担することにより幅広い人材の活用が可能となる。日田市循環型農業の推進など、市独自の特色ある事業の推進が必要である。	今後の日田市農業の戦略指針となる「農業振興ビジョン」の策定を計画しており、これを基に日田市循環型有機農業をはじめ本市の特長等を生かした事業の推進を図っていきます。	<公助> 新規事業	○	—	農業振興課
出前懇談会 光岡	観光では、道路をみても三隈川の観光地が、サッポロビール側から見えない状況では、日田を通過するだけであるため、例えば、豆田地区と隈地区をつなぐ交通網（軌道）、観光ルートを整える、また、港町の城内川から船で夜明まで川下りするなど、日田に泊まって観光してリピーターが増えるような観光を考えていく必要がある。	日田市観光振興基本計画に沿って行われる「日田市観光振興基本計画推進会議」及び、日田市地域公共交通総合連携計画のなかで、検討します。	<公助> 取り組んでいる	—	○	観光課 地域振興課
出前懇談会 中川	天瀬振興局裏の建物、公民館、憩いの湯などをまとめて物産館などにできないか。	天瀬振興局の建物、公民館等の活用について、現在天瀬振興協議会が中心となり、検討を行っています。今後、行政も参画した検討委員会を立ち上げる予定としており、その中で検討していきたいと考えています。	<共助> 検討する	—	○	企画課
出前懇談会 中川	100円バス等を導入して、市内循環や周辺部の生活の強化ができないか。	28年度に、市内循環バス運賃を100円にする実証事業を行い、乗降者数の状況等を検証します。	<公助> 取り組んでいる (既存事業見直し)	○	—	地域振興課
出前懇談会 西有田	交通のインフラを整備すべきでは。福岡や久留米に短時間で行ける方法を作る。久大線は、特急が無理なら、急行などを通勤時間だけでも何本も走らせたらどうか。そういうインフラを充実させていけば「来てください」と言わなくても日田は便利がいいと思ってもらえる。	移住定住を促進するためJR九州とバス会社に増便・時間短縮等積極的に働きかけ利便性の向上を促します。	<自助> 働きかけを行う	○	—	地域振興課
出前懇談会 東有田	不妊治療に係る助成を充実させて、産みたいとの思いを、かなえて欲しい。	平成27年10月から、県の不妊治療費等助成事業の改正に伴い、特定不妊治療の助成を拡充し、高額でステップアップできなかった妊娠率の高い治療が受けやすくなっています。また、県の改正に伴い、県の助成対象外になった不妊治療（人工授精等）についても、日田市単独で助成を継続しています。不妊症で悩む夫婦の経済的負担軽減や産みたいけど産めない苦しい思いに寄り添えるような事業展開を今後も継続する予定です。	<公助> 取り組んでいる	○	—	健康保険課
出前懇談会 東有田	未婚の女性から、出会いの場がないとの意見を伺った。堅苦しくなく、話しやすい、めぐり合いの場を作って欲しい。	他市、他団体の情報収集を行いながら、「出会いの場」を創出する協議会等に対し支援します。	<共助> 新規事業	○	—	企画課
出前懇談会 東有田	若者が日田に残らない現状から、日田に残れる、大学卒業後に日田で就職できる、魅力ある企業や若者が働きたいと思える優良企業の誘致をお願いしたい。Uターンを勧めても「自分に合った仕事場がない」という理由で戻って来れない現状がある。	個々の就職希望業種は多種多様であり、業種を絞り込むのではなく、少しでも多く新規雇用が見込める、優良な製造業を中心に誘致を進めます。	<公助> 取り組んでいる (既存事業見直し)	○	—	企業立地推進室

意見集約の場	意見（取組内容や方法）	市の考え				
		回 答	計画への位置づけ			
			施策・事業化	総合戦略	第6次総合計画	主管課
出前懇談会 東有田	過去に雇用や少子化問題に関する施策等を行ってきたが、成果として現れていない。この結果を踏まえ、これまでの検証を行い、「予算が無いからできない」ではなく、思い切った予算を使って効果を上げるなど、有効な計画として欲しい。	有効と判断される事業については、積極的な予算配分を行います。	<公助> 検討する	—	○	企画課
出前懇談会 三花	農業でも今、シカ、イノシシ、アナグマ、アライグマなどにより、林業も皮を剥がれたり、木を剥がれたりして、ほとんど使い物にならなくなっている。野菜を作っても、同様である。電気牧柵をやっても飛び越えられる。そういう対策をやって、農家の所得を上げる、そのような施策で農林業の振興をやらしてもらえば、少しぐらい変わっていくと思う。	有害鳥獣対策は本市のみならず、中山間地域が共通して抱える大きな課題です。本市においても、金網柵・電気柵等の設置に対する補助、捕獲報償金等の交付を行っており、今後も、特に、個体数の減少を図る取り組みが重要と考えています。	<公助> 取り組んでいる	—	○	林業振興課
出前懇談会 三花	スギ、ヒノキの活用について、例えば圧縮したり、家具に使うなど、山林の持ち主の方の所得を上げるような施策をお願いしたい。また林道を入れるなど、そのような施策をしていただきたい。そのような施策で農林業の振興をやらしてもらえば、少しぐらい変わっていくと思う。	日田材のブランド化、高付加価値化など、需要の拡大につながる取組を推進します。	<共助> 取り組んでいる (既存事業見直し)	○	—	林業振興課
出前懇談会 三花	いらなくなったらいつでも首を切られる非正規の社員はたくさんいる。市の方も事業所に正規社員を増やすような働きかけをしてほしい。	日田公共職業安定所が市内各事業所に正社員の募集を検討いただくよう働きかけを行っています。市内事業所の正規社員雇用が進むよう、今後も関係機関と連携を図りながら啓発活動に取り組んでいきます。	<公助> 取り組んでいる	—	○	商工労政課
出前懇談会 三芳	福岡ドームや別府温泉等を利用連携して、人を呼び込むような事をしてはどうか。	広域連携事業（新幹線活用久大線活性化協議会・筑後川上流域観光圏協議会等）などで検討します。	<共助> 検討する	—	○	観光課